



斐川東中だより



令和6年度 5月16日 出雲市立斐川東中学校 文責：安達直幸

思い返すと、ちょうど1年前のこの時期は、コロナ感染症が5類へと移行された時期です。まだ感染はありますが、今年は、世の中がいわゆるパニックと言われるような状況であった数年前とは違うG・Wを過ごすことができたのではないのでしょうか。

令和6年度 生徒会スローガン

『ともに ～咲きほこれ！ 笑顔の花～』

このスローガンには2つの思いが込められています。

一つは、「共に」という意味で、目標に向かって全校で協力するということです。一人で乗り越えられないことでも、みんなで支え合い協力しながら乗り越えていこうという願いです。

二つは、「友に」と言う意味で、仲の良い友達だけでなく、クラスや学年を問わず、誰でも思いやりを持って接していこうという願いです。これらの思いを持って生活することで、笑顔あふれる学校づくりをしていこうとする生徒会の思いを表わしています。

今年も、校内では「おはようございます」や「こんにちは」などの明るいあいさつの声があちこちで聞かれます。気持ちの良いあいさつが明るい笑顔を生み出しています。この伝統あるあいさつも、生徒会スローガン「ともに」を象徴する行動のひとつです。

生徒総会

5月7日、生徒総会を行いました。それまでの準備として、4月25日には学級生徒会を行い、各クラスからの質問や意見を取りまとめてい

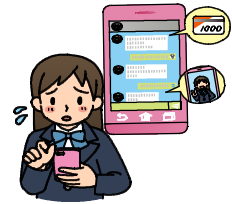


ます。1年生は初めての経験であり、生徒会の役員会が各クラスに出向きアドバイスをしながら進めていました。生徒総会では、各委員会から今年度の取組や協力してほしいことなどについて説明し、質疑応答が行われました。各委員会の委員長や副委員長は、事前にしつかりとした答弁を準備して臨んでいたために、全てについて理解を得ることができました。また、今年度の生徒会予算についても承認されました。自分たちの学校を自分たちでより良くしていこうとする姿勢がみられ、これからの生徒会を十分に任せられることができると感じました。

情報モラル教室

5月8日は「情報モラル教室」を行いました。出雲警察署生活安全課より竹下様と北浦様を講師に迎え、正しいネット利用の仕方やネットトラブルを未然に防ぐための知識を得ることについて学びました。今では、私たちの生活において、SNSを使わないことはほとんどありません。だからこそ、正しい使い方とルールやマナーを守って使い、トラブルを起こさない、巻き込まれないことを意識してほしいと思います。

それでも危険な状況に巻き込まれてしまうことも考えられます。そんな時には、「一人で悩まないで、周りに相談すること」も大切であることもしっかりと学びました。



ふるさと学習

5月14日は、2・3年生がふるさと学習を行いました。2年生は、地域の遺産や文化について見学したり話を聞いたりする「史跡巡り」をしました。初めは沖洲天満宮にて説明を聞いた後、各班に分かれて研修先に向きました。晴天の下、自転車での移動は大変だったようでしたが、しっかりと学ぶことができました。3年生は、ふるさとの良さを再発見しようと、「接遇体験+出雲古代歴史博物館の見学と藍染め体験」を行いました。接遇体験では、例えば会社に就職したときに、仕事の指示を受けた場合、「わかりました」とか「はい」という返事や反応がとても大切であることを学びました。また、藍染め体験では、ハンカチ(布)にそれぞれが考えたアイデアがうまく表現できるように、取り組んでいました。生徒の貴重な体験にご協力いただいた地域の皆様、大変ありがとうございました。

【2年生】



【3年生】

